

第2回今津作業部会議事録

開催日時: 令和8年7月28日 14時～15時30分

開催場所: 今津コミュニティセンター 集会室

参加者

グループ	1	2	3	4
人数	4名	4名	4名	4名

- あいさつ、アイスブレイク
事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。
その後、第1回と同じ4つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。
- グループワーク①
第1回で出合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人が住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。
- グループワーク②
再度グループ分けを行い、参加者を4つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。
- まとめ
つながり、支え合いのあるまち: このテーマでは、地域での挨拶の増加、スマートフォンを控え直接対話を行う重要性、そして世代を超えて誰もが気軽に集まれる場所づくりの必要性を報告した。また、住民同士の優しさや外国人住民との交流およびゴミ拾い活動の推進、高齢者社会に向けた相互扶助や世代間交流の強化について提言した。
- 安心・安全のあるまち: このテーマでは、周囲への気遣い、ゴミのポイ捨て防止といったマナーの遵守、および外国人住民や自転車利用に関するルール共有が重要であると述べた。バス路線の減少に伴う交通アクセスの低下という問題を報告し、コミュニティバスの運行に対する要望が出されたことを伝えた。また、安全面では街灯の増設が求められた。地域における防災訓練の実施回数が少ないという現状を指摘し、今後は避難訓練等の重要性について継続して議論していく必要があると意見を総括した。
- 暮らしを支えるサービスが充実したまち: このグループは、交通機関(バスや電車)、福祉、医療、生活などの7つのグループに分けたと発表があった。特に商業施設についての意見が多かった。生活環境については、ゴミ収集がもっと便利になったらいいという意見があった。
- 地域が元気になるまち: このテーマでは、地域を活性化するために必要な10種類のグループに分けたと述べた。これには企業誘致、食の充実、自然環境の保護、イベ

ント開催、介護や若者向けの総合施設の整備などがあり、これらにより子供や若者の定住を促進することが重要であるとした。自然環境の保全に関しては地域の現状やゴミの問題を住民全体で正しく認識する必要があると説明した。

